

4.職種等	5.校種	6.職場実態をふまえた「学校の働き方改革」に関するご意見（200文字以内）	
1 教員	小学校	現場では物理的に人員が足りていないのであれば、することは一つ!業務量をみんなに見える形で減らすこと!それが見えなければ教員を志望する人は今後も減り続ける一方です!	青年部だよ!全員集合!!
2 教員	小学校	教員数が多いはずなのに、空き時間がない時もある。休憩時間があるが、取れていない人が多い。授業時数を大幅に上回っている実態があるが、それほど上回って授業をやる必要があるのか?	匿名希望
3 教員	小学校	昨今、どんどん働き方改革が進められる中で地道に少しずつですが、勤務校にも変化が、あるな。と思います。しかし、まだ、一般企業と比べると、働いた成果と金額が見合わない点など改善しなければ、どんどん働き手が少なくなるような職業だと思います。	のんち
4 教員	小学校	働き方改革が全く進んでいないのは、そもそもは県教育委員会、市町村教育委員会、管理職が現場の仕事が何なのかを（部署や教科に分けず全体的な視野で）把握していないことが問題ではないでしょうか。なぜなら、働き方改革をするのは上の立場のものであって、現場の判断で量や学校行事や仕事の変えられることは、ほほないからです。	信頼が大事
5 教員	小学校	補助的な職種を増やすのではなく、教員を増やすことが必要不可欠である。	匿名希望
6 教員	小学校	学校現場は人が足りません。特に特別支援は個に応じた支援をするために定数を改善してください	たぬきち
7 教員	中学校	何をやらないか、を今すぐ決めてほしい。人を増やしたり、授業時数を減らすのは時間がかかることは理解できる。でも、今まで文科省や市町村教委が得意の「通達」一発で増やし続けてきた現場の仕事を、「廃止します」と出してスクラップすることは、予算も要らない時間もかからない最善の方法です。今すぐできます。キャリアパスポート、特別の教科道徳、総合学習……など。今すぐ、対応して!	匿名希望
8 教員	小学校	時間外勤務時間外の縮減が強く叫ばれるが仕事内容の削減がまだできる余地がある	匿名希望
9 事務職員	小学校	学校の働き方改革と言われていますが、正直「教員の働き方改革」と言われているようにしか聞こえません。教員のやっていたことを事務職員がやらされるような感覚がある。教員より賃金の低い事務職員がなぜ教員のやっていたことをやらなければいけないのかが分からない。事務職員の賃金を上げるか人を増やさないのであれば、今よりも業務を増やしてほしい。	匿名希望
10 教員	小学校	新型コロナウイルスが第5類扱いになり、無くなっていったものが戻ってきている。アンケートの数だけ増え、変わらない学校現場に疲れてきた。	匿名希望
11 事務職員	小学校	学校徴収金の管理や学校運営協議会への参加など学校の働き方改革にむけた業務を担当していますが、共同学校事務室が設置されて加配があれば、もっと有用なとりくみができるのにと感じています。このままでは、業務改善を推進する事務職員も疲弊してしまいます。文科省の教員勤務実態調査も県教委の出退勤時刻実態調査も事務職員は対象外です。少数職種の働き方改革にも目をむけてほしいです。	ゆうちゃん
12 教員	高校	部活動の地域移行、やる気ないですね?もう令和5年なんですけど、一向に始まる気配すらありません。	匿名希望
13 事務職員	中学校	お金を使ってまでも、働き方改革をせよという、機運はとてよいと思うが、あまり学校現場の意識と仕事量は、減っていないと感じます。学校徴収金はじめ、市町村教育委員会が本気で動いていただく機運がほしいなと感じています。	匿名希望